

[0241/2B-270-001]

Ver.13

2.血液学的検査 >> 2B.凝固・線溶関連検査>>2B270 アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)

antiplasmin

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

アンチプラスミン低値：血栓溶解療法 (t-PA/u-PA)

オーダーボタン名(検体)

0241

001

アンチプラスミン

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト	
注	80 外
<b>即</b>	<input type="checkbox"/>
ケツキ.	
血液	*_*_*_*_*-54002
中検外1	**_*_*_*_*_*
B2	2ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[0241/2B-270-001]

Ver.13

2.血液学的検査 >> 2B.凝固・線溶関連検査>>2B270 アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)

antiplasmin

連絡先 3764

01	B2	3.2%クエン酸ナトリウム(黒)	
採取材料	血液	採取量	2 mL
凝固遠心		↓ 凝固遠心 ↓	
測定材料	血漿	測定必要量	0.5 mL



## 採取容器について

## 検体採取について

採取量厳守 (3.2%クエン酸ナトリウム1容に対して、血液 (全血) 9容にて採取)

## 採取後検体の取扱い

## 検体搬送について

採取後ただちに搬送

## 採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血漿 (凝固用遠心)	保存条件1	凍結	2 週				

## 受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

## 検査に要する時間(生理検査)

## 再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ) &lt;br /&gt;

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

## 検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項



[0241/2B-270-001]

Ver.13

2.血液学的検査 >> 2B.凝固・線溶関連検査>>2B270 アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)

antiplasmin

連絡先 3764

分析物	2B270	アンチプラスミン( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター)
識別	0000	
材料	022	血漿
測定法	315	合成基質法

## 変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2012/03/01	2012/01/04～	外部委託, 基準値変更
3	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 報告日数変更
4	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
6	2019/04/30	2019/04/01～	基準範囲変更
7	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
8	2021/03/09	2021/03/10～	採血管変更
9	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
10	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
11	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
12	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
13	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定